

第 4 部

資 料 編

図書館年譜（明治 19.3 ～平成 26.7）

【注】■は本学の主なトピックスを、●は国内外の主な出来ごとを記す。▲は図書館の出来ごととの区切を表しています。

- 明治 19 年（1886） 3 月 ●帝国大学令公布
 11 月 ■関西法律学校開校（願宗寺：大阪・西区京町堀）
 12 月 ■東区淡路町に校舎を移転
 20（1887） 4 月 ■興正寺に移転（北区河内町）
 12 月 ■『関西法律学校講義録』を発行
 22（1889） この頃の「事務章程」に書籍及び同目録の管理責任者を定めてあり、校舎として使った興正寺の一隅に図書室的なものがあったことがうかがえる
 2 月 ●大日本帝国憲法発布
 4 月 ■司法省顧問ボアソナード博士が来学
 24（1891） 5 月 ●大津事件（■本学創立の事にあずかった児島惟謙が大審院長になった直後のこと）
 29（1896） 4 月 ●近代オリンピックの第 1 回がアテネで開催
 32（1899） ●はがき郵便料金 1 銭 5 厘
 8 月 ●私立学校令公布
 9 月 ●図書館令（勅令大 429 号）公布
 33（1900） ●丸善が米国からタイプライター「ウエリントン No.2」を輸入（1 台 135 円と広告）
 34（1901） 7 月 ■私立関西法律学校と改称
 36（1903） 3 月 ●専門学校令公布
 4 月 ●大阪府立図書館開館
 12 月 ■江戸堀校舎竣工移転（西区江戸堀北通） ●ライト兄弟初飛行に成功
 37（1904） 1 月 ■専門学校令による専門学校として認可される ▲江戸堀校舎に書籍室を置く
 2 月 ●日露戦争勃発
 38（1905） 明治 38 年度の図書室書籍費 120 円
 1 月 ■私立関西大学と改称、大学科、大学予科及び専門科を設置
 39（1906） 12 月 ■福島学舎竣工移転（北区上福島北 2 丁目）
 40（1907） 3 月 ●義務教育 6 年制、小学尋常科 6 年・高等科 2 年と

		なる
	10月	●日本文庫協会（現日本図書館協会）が『図書館雑誌』を創刊
43（1910）	5月	●ハレー彗星地球最接近
44（1911）	1月	●白瀬中尉の南極探検隊、南極平原に日章旗立てる
大正元年（1912）	8月	福島学舎増築工事が竣工し、同学舎に図書室を置く
2（1913）	4月	■関西甲種商業学校開校
3（1914）	7月	福島学舎に図書館竣工（その一室に閲覧室を置いた2階建洋風館で、本学初の独立図書館 ●第1次世界大戦勃発
5（1916）	12月	■大学創立30周年記念式典を挙行
7（1918）	8月	●米騒動
	12月	●大学令公布
9（1920）	1月	●国際連盟発足
	3月	■財団法人に改組し、私立の二字を削除し校名を関西大学と改称
10（1921）	10月	■岩崎卯一、初の専任教授に就任
	12月	■大学創立35周年記念祝賀式典を挙行
11（1922）	4月	■千里山学舎（予科校舎）竣工 ▲予科校舎に図書室を置く
	5月	■千里山学舎に大学部、大学予科を移転
	6月	■大学令による大学として認可され、大学院を附置
	9月	●学歌制定（服部嘉香作詞・山田耕筰作曲）
12（1923）	9月	●関東大震災
13（1924）		「関西大学図書館規則」制定
14（1925）	4月	●治安維持法公布
	5月	●普通選挙法公布
15（1926）	11月	千里山図書館の設計案成る
昭和2年（1927）	3月	大学部の本館に読書室および書庫を設ける
	6月	千里山図書館起工式
3（1928）	2月	●わが国初の普通選挙が実施される
	4月	千里山図書館竣工 ▲蔵書15,821冊
4（1929）	2月	●森清編『日本十進分類法』刊
	3月	「図書館事務大要」と「図書館管理及其分掌」が定められ、司書部と事務部が置かれる
	4月	■大学院を開設
	9月	■天六学舎竣工（専門部・関西甲種商業学校・第二商業学校が福島学舎から移転）

- 10月 ●世界恐慌始まる
- 11月 天六分館目録作成開始（登録番号1番より） ▲「関西大学図書館規程」制定（平成13年制定の同名規程とは別のもの）
- 12月 天六学舎に図書館を設置（地階）
- 5（1932） 7月 ●第10回オリンピック大会がロスアンゼルスにて、大島鎌吉が三段跳びで3位入賞、本学初のメダリストとなる
- 10（1935） 3月 天六学舎本部増築工事が竣工し、天六学舎図書館は地階より4階に移転
- 11月 千里山本館目録作成開始（登録番号「1」番より）
- 11（1936） 2月 ●2.26事件
- 4月 新予科校舎に図書室を設置
- 5月 ■大学創立50周年記念行事を開催、『関西大学創立五十年史』を刊行
- 13（1938） 5月 全国私立大学図書館協議会（のち、私立大学図書館協会）創立
- 9月 初代図書館長・岩崎卯一就任
- 14（1939） 9月 ●第2次世界大戦勃発
- 15（1940） 「小畑文庫（別置記号：LO）」設置
- 16（1941） 「興亜文庫（H2）」設置
- 18（1943） 「南方文関係資料（H3）」別置
- 12月 ●学徒出陣開始
- 19（1944） 4月 ■関西工業専門学校（第1部・第2部）を開校
- 20（1945） 6月 ■大学創立60周年記念式を挙行
- 8月 ●広島、長崎に原爆投下、ポツダム宣言受諾
- 21（1946） 7月 私立大学図書館協会第7回総会を戦火を免れた高野山大学で開催、15の大学が集まり協会は再出発する
- 11月 ●日本国憲法公布
- 22（1947） 3月 蔵書64,104冊 ●教育基本法、学校教育法公布
- 4月 ■関西大学教育後援会が発足 ▲翌23年から同後援会より毎年学生文庫用図書を寄贈
- 5月 ■岩崎卯一学長「関大ルネッサンス」を説く
- 6月 第2代図書館長・森川太郎就任
- 7月 「細江文庫（LH）」設置
- 23（1948） 1月 ●大学設置委員会設置
- 4月 ■学制改革により新制大学に移行 法、経済、文、商の4学部（各第1、2部）を設置 ▲岩崎学長は「関

- 大ルネッサンス」につづき、「関大アカデミア」を提唱し、同年6月に図書館は「読書と教養」講演会・図書展覧会を開催している（講師は、岩崎学長、文学部長、図書館長、図書館の課長など） ●国立国会図書館開館
- 11月 「学生文庫」創設
- 24 (1949) 1月 千里山図書館に開架式図書室を開設
- 2月 イギリスの詩人エドモンド・ブランデンが来館『Books』を揮毫し献呈される
- 3月 「生田文庫 (LI)」設置 ▲「関西大学図書館学講習所規則」制定
- 4月 関西大学図書館学講習所を設置（天六学舎にて。京都大学においても、同月「図書館学校」を開講）
- 11月 ●湯川秀樹博士がノーベル物理学賞を受賞
- 12月 ●私立学校法公布
- 25 (1950) 本学の図書目録の記述に ALA Cataloging rules を採用
- 4月 ●「図書館法」公布 ■新制大学院を開設 ■短期大学部を設置（～昭和34年3月）
- 5月 開架室用図書に別置記号「S」を付与
- 12月 新価格体系移行に伴い、図書の再評価額を、和漢書200円、洋図書700円とする
- 26 (1951) 千里山本館の旧閲覧室を回復（大戦中閉室していた）
- 3月 ■学校法人関西大学に改組 ▲「泊園文庫」「極東国際軍事裁判資料」が東西学術研究所に設置（「泊園文庫」は昭和39年図書館に移管。「裁判資料」は昭和47年に移管） ▲蔵書97,432冊
- 4月 ■東西学術研究所を開設
- 12月 「潁原文庫」設置（一般図書と混排する）
- 27 (1952) 日本目録規則1952年版採用
- 28 (1953) 基督教研究部の木下清より寄贈され聖書等キリスト教関係蔵書（同氏岳父旧蔵）をベースに「聖書コレクション」を創設する
- 2月 ●NHK テレビ本放送開始（民間テレビ放送は8月開始）
- 4月 NDCを2版から6版に変更
- 7月 第3代図書館長・大小島真二就任
- 9月 千里山本館で夜間開館を始める ▲天六分館の夜間

- 開館を復活
- 10月 貴重書に別置記号「C」を付与
- 11月 「附属図書館組織規程」制定
- 12月 「関西大学図書館閲覧及び帯出規程」制定
- 29 (1954) 3月 蔵書 142,512 冊
- 4月 開架式学生文庫を地階元ゼミ室に移す (36席3,500冊)
- 5月 私立大学図書館協会総会 (第15回) が本学にて開催、協会創立15周年記念式典も挙行され、岩崎学長が祝辞を述べる ●日本図書館協会は「図書館の自由に関する宣言」を採択 (昭和54年に、「1979年改訂」を採択している)
- 30 (1955) 4月 「個人研究用図書規程」制定
- 5月 「五弓雪窓文庫 (LG2)」設置
- 8月 ●第1回原水爆禁止世界大会が広島で開催
- 10月 千里山図書館増築工事竣工
- 11月 円型新館2階に開架閲覧室を移す ▲「関西大学図書館図書複写規程」制定 (昭和47年、同名の規程制定により廃止) ■大学創立70周年記念式典を挙行
- 12月 図書館学講習所終了式 (第5回有終)
- 31 (1956) 千里山本館にマイクロフィルム撮影機を設置 (~昭和53年)
- 3月 蔵書 183,921 冊
- 5月 私立大学図書館協会は「私立大学図書館改善要項」制定 (国立大学、公立大学もそれぞれ制定される)
- 6月 「関西大学図書委員会規程」制定
- 7月 図書館第1分室開設 (第2学舎)
- 12月 ●国際連合に加盟
- 32 (1957) 3月 蔵書 193,658 冊 ■友の像除幕式 ▲友の像は、もと千里山本館前にあったが、昭和40年旧学生部横誠之館1号館庭に移されたのち、現在は総合図書館前にある
- 9月 ●国産ロケット打上げ成功 (10月にソ連が、月に世界初の人工衛星スプートニク1号打上げ成功)
- 10月 図書館シリーズ刊行始まる (第一輯『関西大学雑誌目録和文篇』) ▲「岩崎美隆文庫 (LI2)」設置
- 12月 ■『関西大学七十年史』を刊行
- 33 (1958) 4月 ■工学部を設置 ▲登録番号「工1」番開始 ■経済・政治研究所を開設

- 9月 『関西大学論文目録』刊行
 12月 『細江文庫目録』刊行
- 34 (1959) 1月 ●メートル法施行
 3月 『関西大学雑誌目録欧文篇』刊行
 9月 「吉田文庫 (LY1)」設置
- 35 (1960) 3月 『参考図書目録欧文篇』刊行
 6月 「本山文庫 (LM)」設置
 7月 天六分館閲覧室増築工事竣工
- 36 (1961) LC 記述目録規則採用
 3月 蔵書 326,941 冊
 6月 「岩崎文庫 (LI3)」設置
 9月 「図書館長の任命及び任期に関する規程」制定
 10月 『大阪関係資料目録』刊行
 11月 「宮島文庫 (ELM)」設置 ▲日本文学の外国語訳図書
 の展示と講演会の開催 (講師ドナルド・キーン)
- 37 (1962) 1月 「玄武洞文庫 (LG)」設置
 4月 新規受入図書から NDC7 版に変更 ▲工学部分室開設
 (第4学舎)
 8月 ■堀江謙一 (関大一高 OB) がヨットで太平洋横断
- 38 (1963) 9月 『生田文庫・穎原文庫目録』刊行
 10月 第4代図書館長・堀正人就任
 11月 専門図書館建設に着工
- 39 (1964) 1月 ■工業技術研究所を開設
 4月 「泊園文庫 (LH2)」が東西学術研究所から図書館へ
 移管される
 9月 専門図書館が竣工・開館して、第1分室及び工学部
 分室を吸収
 10月 ●東海道新幹線開通 ●第18回オリンピック東京大
 会開催
- 40 (1965) 日本目録規則 1965 年版採用 ▲専門図書館に本学初
 のゼロックス複写機が置かれた (大阪府内大学に置
 かれた2台のうちの1台)
 7月 ●名神高速道路全通
 11月 ■大学創立 80 周年記念式典を挙行
- 41 (1966) 4月 蔵書 467,303 冊
 9月 『雑誌目録欧文篇第2版 (総記・人文・社会科学)』
 刊行
- 42 (1967) 3月 千里山本館書庫増築 ▲417,795 冊

- 4月 ■社会学部を設置
- 7月 ■下笠・松原ダム総合学術調査団現地調査を開始（のち、図書館に「室原文庫」設置） ●ヨーロッパ共同体（EC）成立
- 11月 第5代図書館長・広瀬捨三就任
- 43（1968） 4月 社会学部学舎（第3学舎）に臨時開架閲覧室を開設
▲『利用あんない』（全26ページの写真入り本格的パンフレット）制作
- 9月 『図書館蔵書目録和文篇』刊行
- 12月 「大阪地区大学図書館における新聞の分担保存に関する協定」発効
- 44（1969） 1月 ●国内で大学紛争激化
- 6月 ■学園紛争が拡大
- 7月 ●アメリカの宇宙船アポロ11号、世界初の月面着陸成功（72年まで6回）
- 10月 第6代図書館長・荒井政治就任
- 11月 第7代図書館長・見次直雄就任
- 45（1970） 3月 ●日本万国博覧会EXPO'70が吹田市千里丘陵で「人類の進歩と調和」をテーマに開催
- 4月 ●大阪市天六ガス爆発事故発生
- 5月 ●「著作権法」制定
- 10月 『雑誌目録和文篇第2版（自然・工学）』刊行
- 46（1971） 1月 『蔵書目録欧文篇（経済・産業）』刊行
- 3月 蔵書630,748冊 ■工業技術研究所内に電子計算機室を開設
- 6月 「室原文庫（LM3）」設置
- 8月 ●円変動相場制の実施
- 47（1972） 1月 ■学生費値上紛争により24日からの学年末試験は全部レポートに切替えられた ▲大学封鎖のため名神高速道路上の本学駐車場にプレハブの学部事務室の他、図書館の目録カード検索コーナーや貸出・返却窓口が設けられた ▲『吉田文庫目録』刊行
- 3月 「極東国際軍事裁判資料（LF）」が東西学術研究所から図書館へ移管され、『極東国際軍事裁判資料目録』を刊行 ■高松古墳発掘調査（極彩色の壁画を発見）
- 4月 ●学校法人会計基準制定・施行 ▲同会計基準に従い、固定資産図書「A系」登録番号および消耗図書「B系」登録番号開始 ▲「関西大学図書館図書複写規

- 程」制定（昭和 30 年に制定の同名規程は廃止）
- 9 月 「図書館建築計画小委員会」（後に図書館建設計画小委員会と改称）を設け、新図書館についての検討を始める
- 11 月 ●「図書の会計処理について」の文部省通達あり（長期にわたり保存・使用する図書は、取得価格の多寡にかかわらず固定資産に属する図書として取り扱い、学習用図書は取得した年度の消費支出として取り扱うことを可とし、雑誌は製本費で取得価格としてよいとある）
- 12 月 ●『大学図書館研究』創刊（昭和 58 年からは国公立大学図書館協力委員会が編集する）
- 48（1973） 5 月 第 8 代図書館長・高尾忠男就任
9 月 第 9 代図書館長・前田春興就任
10 月 第 10 代図書館長・中村幸彦就任
- 49（1974） 4 月 「阪神地区相互利用に関する協定」発効
5 月 ●大阪市が史跡顕彰碑「関西法律学校発祥の地」を願宗寺跡に建立
6 月 図書館業務機械化構想 1 期案策定
9 月 大学図書委員会の中に「図書館建築小委員会」を置き、他大学図書館等の調査に着手
- 50（1975） 2 月 図書館建築小委員会の調査結果を学長に報告
3 月 『蔵書目録和文篇（政治・法律、第 1 分冊：政治）』刊行
4 月 本学図書館が私立大学図書館協会の常任理事校（会長校）となり、昭和 50・51 年度の会務を中村幸彦館長が掌理する
9 月 「服部文庫（LH3）」設置
11 月 ■大学創立 90 周年記念式を挙行
12 月 「図書館総合計画委員会」を設置
- 51（1976） 2 月 ●ロッキード事件
3 月 図書館広報誌『籍苑』創刊 ▲『岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録』刊行 ▲蔵書 829,091 冊
4 月 国立国会図書館印刷カードを導入
5 月 図書館総合計画委員会より学長宛「図書館及びその類縁機関における図書資料の取扱い方法の改善について」（中間答申）提出
6 月 「図書館建設計画小委員会」を第 1 分科会（ソフト）、

- 第2分科会（ハード）に分ける
- 10月 第11代図書館長・辻岡美延就任 ▲マイクロ資料の整理を開始し、別置記号を「MF、MS、MC」とする
- 12月 図書館業務機械化準備会発足
- 52 (1977) 1月 図書館業務機械化プロジェクトチーム発足（業務の現状分析と文献調査）
- 3月 蔵書 863,015 冊 ▲図書館総合計画委員会より「図書館総合計画の策定について」を学長に答申 ▲業務機械化計画の大綱を策定（学術雑誌、洋書、和書及び閲覧奉仕の各システムのうち、第1段階として「学術雑誌管理システム試案」を作成）
- 4月 「関西大学図書館図書管理規程」施行 ▲MARC-II（LC）カード導入
- 6月 学長により「図書館総合計画の策定について」を理事会に進達、承認
- 8月 「図書館建設実行委員会」を設置 ●日中平和友好条約調印
- 12月 図書館にオンライン端末装置を設置し、ホストコンピュータと接続 ▲「関西大学学術雑誌管理システム」開発計画を策定し、「KULPIS」と命名する
- 53 (1978) 2月 KULPIS オンライン運用システムを自館開発
- 3月 KULPISのオンラインシステム（学術雑誌仮受入業務）開始
- 4月 「阪神地区相互利用協定『分担保存実施要領』」施行
- 6月 「増田渉文庫（LM2）」設置
- 9月 KULPISのオンラインシステム（蔵書検索業務）開始
- 10月 図書館建設実行委員会より「総合図書館の建設計画について」（答申その1:新図書館の建物の規模、形状、構成及び建設用地について）を学園建設委員会委員長に提出 ▲KULPISを学内に披露する（デモンストラクション実施）
- 54 (1979) 3月 『摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録』刊行
- 4月 学園建設委員会より前年10月の「答申その1」を理事長に答申、理事会において承認 ▲KULPISによる固定資産製本雑誌の登録番号「C1」番より開始
- 5月 第12代図書館長・大西昭男就任 ●改訂「図書館の

- 自由に関する宣言」が日本図書館協会総会で決議
- 10月 第13代図書館長・大庭脩就任 ▲「矢口文庫(「LY2)」設置
- 11月 国公立大学図書館協力委員会設立
- 55 (1980) 1月 ●学術審議会より「今後における学術情報システムの在り方」が答申される
- 3月 『河内国丹北郡六反村西田家文書目録』刊行
- 5月 ●『大学図書館協力ニュース』創刊
- 6月 ●日本図書館協会は「図書館員の倫理綱領」の制定を総会で決議
- 56 (1981) 2月 『撰津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録』刊行
- 3月 図書館建設実行委員会より「新図書館建設計画案」(答申その2)を学園建設委員長に提出 ▲学内図書資料所蔵関係機関を含む学術雑誌の総合目録化着手 ▲蔵書1,062,218冊 ▲「関西四大学図書館長会議規約」締結 ▲「関西四大学図書館相互利用協定」発効 ▲図書館閲覧システム開発計画を策定
- 4月 「図書館複写規程」一部改正(昭和47年設定の普通紙A4判15円、B4判20円を全て10円に改正)
- 5月 運営課の分掌業務に図書館機械化業務を加え、図書課を廃止し、収書課、整理課の2課を設ける ▲「図書館建設計画小委員会」を改組し、「図書館建設小委員会」発足
- 7月 第1回学内図書資料に関する事務連絡会議開催(昭和55年12月27日付文部省大学局長からの学長宛文書「経済学・商学関係学部の改善について」に従い、学長の命令により大学事務局長が主宰。学内所蔵機関逐次刊行物目録欧文編作成計画案が示される) ▲『和泉国大島郡豊田村小谷家文書目録』刊行
- 10月 第14代図書館長・名取栄史就任
- 11月 鬼頭梓建築設計事務所に総合図書館の設計を委託 ▲図書館業務機械化第1次中期計画(昭和57～61年度)を策定
- 57 (1982) 3月 『和泉国大島郡岩室村中林家文書目録』刊行
- 4月 館内の「図書館建設小委員会」に6分科会を設ける(書庫・移動計画、閲覧関係、業務機械化、事務組織・分掌事項、連絡調整会議、事務局) ■第4グラウンド竣工 ▲第1次図書館業務機械化中期計画(～61

- 年度) 実施 ▲総合図書館開館に備えて、現蔵の学習用図書を転用して再利用する分に「16系」の登録番号を付与し、補充するリフレッシュ分に「17系」を付与することを決定 ■関西大学情報処理センター開設 (関西大学電子計算機室を改組)
- 5月 関西大学総合図書館・情報処理センター基本設計完成
- 9月 関西大学総合図書館・情報処理センター実施設計完成
- 10月 貴重書のマイクロ撮影計画を開始
- 58 (1983) 1月 EC (欧州共同体) 委員会が本学図書館に EC 資料センターの設置を認可
- 2月 関西大学総合図書館・情報処理センター起工式を挙
- 3月 TRC/MARC (JAPAN/MARC 仕様) の導入を決める ▲総合図書館に向けての開架図書のリフレッシュ作業開始 ▲『関西大学逐次刊行物目録欧文篇』(初版) を電算編集し刊行
- 4月 TRC 方式による学習用図書の発注を開始し、和図書に登録番号「18系」を付与 ▲専門図書館内に EC 資料センターを開設 ▲「大阪文藝資料 (LO2)」蒐集を本格的に開始
- 6月 「図書館業務機械化特別委員会」発足 ▲閲覧システムの設計作業開始 ▲『増田渉文庫目録』刊行
- 9月 書庫図書の簡易データ入力を開始 (昭和 60 年 2 月新規受入図書より順次 JAPAN/MARC 仕様化)
- 10月 専門図書館に IR 用端末機を置き、JOIS と DIALOG の IR サービスを開始
- 59 (1984) 2月 書庫図書の全てに OCR ラベル貼付作業
- 3月 『関西大学逐次刊行物目録和文雑誌編』(初版) を電算編集し刊行
- 4月 国公立大学図書館協力委員会の第 5 期委員長に名取栄史館長が就任 ▲「内藤文庫調査特別委員会」設置 (～平成 7 年 4 月)
- 7月 開架図書リフレッシュ作業
- 8月 ●臨時教育審議会設置
- 9月 開架図書の TRC/MARC 仕様化
- 10月 総合図書館・情報処理センター竣工式を挙行 ▲「内

- 藤文庫（L21）」設置
- 60（1985） 2月 総合図書館への移転作業により2月21日より4月10日まで休館する ▲旧千里山本館及び専門図書館所蔵約100万冊を総合図書館へ移転（2月21日～3月14日）
- 3月 閲覧貸出システム総合テスト・館員教育 ▲『矢口文庫目録』刊行
- 4月 図書館業務組織を改組、運営課、閲覧参考課、収集整理課、逐次刊行物課及び天六分館事務室を置く ▲総合図書館開館（11日） ▲「関西大学図書館利用規程」施行 ▲閲覧貸出システム運用開始 ▲図書館利用券「KUL-card」発行開始 ▲利用者用所蔵・検索システム「KUL」運用開始 ▲第1回特別展示（「関西大学総合図書館開館記念特別展示 内藤文庫展」）開催 ▲図書費予算4.8億円
- 5月 私学振興財団に〈特色ある研究助成〉が創設され、本学より「電算システムによる目録情報サービスの組織化」をテーマとして申請し、昭和63年度まで4ヵ年助成を受ける
- 10月 オリエンテーション用ビデオ『本の世界』を制作
- 61（1986） 3月 蔵書1,342,201冊
- 4月 来館者用図書館案内パンフレット『総合図書館』作成（平成7（1995）年まで重版使用） ▲学習用洋図書に登録番号「11系」を付与 ●文部省学術情報センター設置
- 5月 天六分館閲覧貸出システム（オフライン・パソコン対応）を開発し、10月より運用
- 10月 第15代図書館長・高島義郎就任 ▲図書館業務機械化第2次中期計画（昭和62～平成元年度）を策定 ▲上位年次用ビデオ『私と図書館』『雑誌論文をさがすには』他制作を開始
- 11月 ■大学創立100周年記念式典・記念祝賀会を挙行 ▲第7回特別展示「関西大学創立100周年記念：大阪名家自筆稿本百種展」開催 ▲『内藤文庫漢籍古刊・古鈔目録』刊行
- 62（1987） 3月 『近世文書目録その一』刊行
- 4月 ■法学研究所開設 ▲第2次図書館業務機械化中期計画（～64年度）を実施 ●国鉄民営化によりJR

- 発足
- 9月 上位年次用『ガイドブック 文献のさがし方から入手まで』（初版）を刊行
- 11月 パンフレット『図書館 HOW TO シリーズ』作成開始
- 63（1988） 4月 ●瀬戸大橋開通
- 6月 図書館図書管理規程におけるマイクロ形態資料の管理区分を変更し、固定資産に区分する
- 10月 第4回日本図書館協会建築賞に、総合図書館が「建物のみならず、すぐれた機能を持つ専門施設」であるとして優秀賞を受ける
- 平成元年（1989） 3月 『近世文書目録その二』刊行
- 4月 ▲利用者用所蔵検索システム KUL をバージョンアップして「KUL-II」運用開始（学外から電話回線による利用を実現） ▲図書費予算5.7億円 ▲マイクロフィルム35mm版に「61系」、マイクロフィッシュに「62系」、オーディオテープに「64系」、ビデオテープに「65系」の登録番号を付与 ●消費税法施行（3%の課税）
- 5月 私学振興財団（特色ある研究助成）に「大阪文芸に関わる資料の発掘、収集・保存、及び研究・目録刊行」をテーマとして申請し、平成4年度まで4ヵ年助成を受ける
- 10月 第16代図書館長・吉田永宏就任 ▲「図書館における図書館資料としてのニューメディア取扱・暫定要領」を定め、CD-ROM、フロッピーディスク、磁気テープ等の収集並びに提供開始 ▲『内藤文庫リスト』をNo.1より順次刊行（～No.5）
- 11月 ■関西大学100周年記念会館竣工 ■国際交流センター開設 ●ベルリンの壁撤去
- 2（1990） 1月 ●第1回大学入試センター試験実施
- 2月 第3次図書館業務機械化中期計画（～平成4年度）を策定
- 3月 『大阪文芸資料目録』刊行 ●私立大学図書館協会機械化委員会編『大学図書館機械化便覧』刊行
- 4月 「図書館利用に関する取扱要領」制定 ▲目録システム（図書を受発注、支払、予算管理、配架、目録、図書管理等業務）開発

- 12月 「北條秀司米寿記念劇作展」開催
- 3 (1991) 3月 ■高槻校地竣工式を挙行 ▲蔵書 1,507,366 冊
- 6月 文部省学術情報センターの目録所在情報システム NACSIS-CAT を VTSS 方式で接続申請し利用開始
- 7月 「図書館長の権限の一部委譲について（支払依頼行為承認者を図書館次長に委ねること）」が了承される
- 10月 第17代図書館長・浦西和彦就任 ▲図書委員会により、テーマを設定した基本図書の選定に「ドイツ統一」を決める（平成3～4年度実施）
- 11月 図書委員会で「カード目録（作成中止）について」審議が開始される
- 12月 ●ソビエト連邦消滅
- 4 (1992) ▲大阪商工会議所からの「毛戸文庫」の寄託を解除（受寄資料は廃棄する）
- 4月 書庫図書目録データ「週及入力7ヵ年計画」を策定 ▲文部省学術情報センターの相互利用システム NACSIS-ILL・情報検索システム NACSIS-IR を利用開始
- 9月 情報処理センターによる個人の利用者 ID 番号が、すべての学生に交付（申請交付方式から全員交付に）される
- 5 (1993) 3月 目録システム運用開始 ▲『芝居番付目録』刊行 ●『私立大学図書館協会 50 年史』（本文篇、記録篇、論文集の3冊）刊行される
- 4月 図書費予算 6.6 億円 ▲マイクロフィルム 16mm 版に「63系」の登録番号を付与
- 5月 書庫図書目録データ「週及入力7ヵ年計画」実施 ▲EDC セミナーを本学図書館にて開催
- 7月 私立大学図書館協会総大会（第54回）を本学にて開催（テーマ「継承と変革の大学図書館」）および、記念展示開催
- 10月 「長澤文庫（L23）」創設 ▲利用者用蔵書検索システム KUL-II をバージョンアップ（漢字検索機能〈中間一致〉追加、利用状況表示）
- 11月 私学振興財団〈教育学術情報ネットワーク関連助成〉に「OPAC・データベースの拡充」をテーマとして申請、平成6年度より現在も助成金を受ける ▲図書委員会により、テーマを設定した基本図書の選定

- に「冷戦後のアメリカ研究（一）経済・産業」（平成5～6年度実施）、及び「冷戦後のアメリカ研究（二）政治・文化」（平成6～7年度実施）を決める
- 6（1994） 3月 第2部の千里山キャンパス移転に伴い天六分館有終閉館 ▲天六分館の蔵書「B系」「D系」「1系」を除却（「1系」の図書で必要分はロケーション記号「T」のまま高槻図書室へ移管し、「B系」の一部を総合図書館へ移す） ■総合情報学部学舎棟が竣工
- 4月 ■総合情報学部設置 ▲高槻図書室をオープン ▲関西大学図書館自己点検・評価委員会発足（規程の制定は、同年1月） ▲磁気カード化された教職員証・学生証（図書館利用者ID番号付）が交付され、「KUL-card」を廃止 ▲目録システムをKULPISと併合し「図書館情報システム」として全稼動 ▲平成6年度より新規受入図書の「カード目録」作成を中止し、オンライン目録KUL-II（OPAC）に切替える ■博物館が開館 ■第2部が天六から千里山へ移転
- 5月 私学振興財団（特色ある研究助成）に「書誌学基礎資料の整備充実及び学術資料の組織化研究（長澤文庫関連）」をテーマとして申請、平成6年度より助成を受けている
- 7月 『関西大学図書館影印叢書』第1回配本（第4巻）より刊行
- 9月 学外展示「関西大学文学部創設70周年記念・関西大学図書館創設80周年記念 おおさか文藝書画展」大丸心斎橋店にて開催 ●関西国際空港開港
- 10月 学外展示「関西大学図書館創設80周年記念 近世・近代の文藝書画展」奈良県新公会堂にて開催
- 11月 カラーコピー機導入（1枚200円）
- 7（1995） 1月 ●学年末試験開始前日に、阪神・淡路大震災 ▲2月より4月まで、本学図書館を被災関連の阪神地区大学学生の利用に供する
- 3月 関西大学図書館報『籍苑』第40号にて終刊
- 4月 入館機（磁気カード対応）及び退館機を総合図書館1階エントランスホールに移設 ▲学内総合目録構築に向けて「関係所蔵機関蔵書管理システム」を開発、視聴覚教室・人権問題研究室・法学研究所等順次運用 ▲EC資料センターをEU資料センターと改称

- 7月 「図書館の電子化構想（図書館電算化第2期構想）」を策定
- 9月 「第2期構想第1次中期計画（平成8～10年度）」を立案 ▲CD-ROMサーバーシステム（6クライアント）運用開始 ▲インターネット「関西大学図書館ホームページ」テスト公開（図書館のインフォメーションを含めて、大学のホームページも試験運用開始される） ▲外国の逐次刊行物の受入先につき、丸善・紀伊國屋等経常的取引書籍業者10社に代えて、オランダのスエッツ社に変更
- 10月 図書委員会により、テーマを設定した基本図書の選定に「災害と環境破壊」（平成7～8年度実施）を決める ▲第1回関西大学図書館セミナー「米国議会情報とインターナショナル」を開催
- 8（1996） 3月 『関西大学図書館フォーラム』を創刊 ▲図書館自己点検・評価委員会により自己点検・評価の「報告書」作成して図書委員会に報告 ▲同報告書を以降毎年度『図書館フォーラム』に収載する ▲新版の来館者用パンフレット『総合図書館』発行
- 5月 館内LAN（教育研究用、及び事務用LAN）整備、拡張
- 7月 CD-ROMサーバーシステムを教育研究用LANに接続し、高槻図書室にクライアントを設置 ●堺市内の小学校で病原性大腸菌（O157）集団食中毒発生
- 9月 インターネット版利用者用蔵書検索システムの開発に着手
- 10月 ■インターネットで関西大学ホームページ（図書館インフォメーションを含む）運用開始 ▲新関西大学会館竣工記念特別展示「関西大学図書館所蔵文書戦国武将の書状展」開催
- 12月 総合図書館1階雑誌コーナー等に閲覧座席増設
- 9（1997） 3月 『関西大学所蔵 大坂画壇目録』刊行 ▲図書館案内ビデオ『知識と情報へのアクセス』を製作 ●私立大学図書館協会が「新私立大学図書館改善要項」を制定
- 4月 私有複写機にプリペード・カード方式導入（ディスプレイ、カード自動販売機設置） ▲第2バージョンの改訂新版『図書館利用案内』（1996年度版）発行

- エクステンション・リードセンター開設 ●消費税法律改訂（5%となる）
- 5月 京阪百貨店守口店のギャラリーで学外展示「大坂の書と画と本——関西大学所蔵——」を開催
- 10月 第18代図書館長・山野博史就任 ▲第2回関西大学図書館セミナー「インターネットと法情報」を開催
- 11月 インターネット版利用者用蔵書検索システム（愛称「KOALA」）の館内試験運用開始
- 10（1998） 3月 ■大学基準協会より「貴大学は大学基準に適合し」「相互評価の認定を行うことが適当である」（ただし、閲覧座席数等に関する指摘事項を含む）旨の通知あり
- 4月 総合情報学部完成（第1期生卒業）と同時に高槻キャンパスに設置の高槻図書室が図書館の組織となる ▲KOALAの本運用開始 ●明石海峡大橋が開通（7月に「中村幸彦文庫」が洲本市の中村邸から本学図書館へこの大橋を渡ってくる）
- 10月 インターネットでKOALAの公開を開始 ▲洋雑誌目次検索システムを開発し（約14,000タイトルの最新の目次情報が検索可能）運用開始 ▲電子ジャーナルのサービス（英国 MCB University Press 発行の雑誌8タイトル）をテスト運用
- 11月 第3回関西大学図書館セミナー「いま図書館員に求められるもの」を開催
- 12月 「関西大学図書館がめざす方向」ビジョン7項目を策定
- 11（1999） 2月 文部科学省学術情報センター NACSIS の「学術雑誌目次速報データベース」に参画
- 3月 公開性の高いCD-ROMサーバーへの移行により、学内LAN上でのサービス提供を可能とした ▲第2期目録情報週及3ヵ年計画を策定（第1期7ヵ年計画最終年度96%完了）
- 4月 KOALA及び「洋雑誌目次検索システム」の各英語版サービス開始
- 5月 漢籍を中心としたCD-ROM版目録『内藤文庫目録 KUL-bijou』を刊行し、全国の大学図書館等へ配付
- 11月 第4回関西大学図書館セミナー「書誌の学苑に遊ぶ」を開催 ▲図書館ホームページをサービス主導型に全面リニューアルし、新しい窓口（電子カウンター）

- として位置づけた ▲電子ジャーナル導入計画推進
(エルゼビア・サイエンスのサイエンスダイレクト等
1000 誌以上のオンラインジャーナルにアクセスを可
能にした)
- 12 (2000) 3月 第2期目録情報週及3ヵ年計画を開始
4月 図書館事務組織改編(図書情報管理課を元の運営課
に、閲覧サービス課とレファレンスサービス課を併
せて元の閲覧参考課にし、学術資料課継続して3課
体制となる) ▲閲覧サービス部門にアウトソーシ
ングを導入し、通常22時まで延長して夜間開館すると
ともに国民の祝日も開館してサービスの拡大を図る
(この件、大学から6月の理事会に報告される) ▲既
蔵書の目録データ週及入力(第2次3ヵ年計画)開
始 ●文部省学術情報センターが廃止・転換されて、
国立情報学研究所(NII)に改組される ■全学共通
教育推進機構と外国語教育研究機構を設置
- 6月 本誌『関西大学図書館フォーラム』の第5号から図
書館ホームページに全文を掲載
- 7月 インターネット環境の整ったパソコンの設置 ■大
学院学舎棟・尚文館が竣工 ▲同学舎棟と結ぶ研究
者専用通路を設置し、研究者カウンター開設
- 8月 『内藤文庫目録 KUL-bijou』刊行に対して、私立大学
図書館協会より1999年度「協会賞第1部賞(図書館
学の研究・調査業績)」を授与される ●介護保険制
度スタート
- 13 (2001) 1月 ●国の中央省庁改編、1府に12省となる
3月 「中村幸彦文庫(L24)」を創設
4月 電子展示委員会の設置(～H19年度)
5月 監査法人により「図書台帳の電子化について」を了
承される ▲監査法人の承認により、図書館図書管
理規程にもとづく現物照合を循環方式によって再開
する
7月 「関西大学図書館規程」制定 ▲私立五大学図書館
(関西大・慶應義塾大・早稲田大・東京慈恵会医大・
九州産大)はISIコンソーシアム代表委員会を組織し、
文献データベースWeb of Science 導入(lexis.com
導入など外部データベースやオンラインジャーナル
導入の拡充を図り、〈本学の図書館ビジョン第1項目

- 「メディアの多様化に対応しうる図書館」を推進)
 ▲所有権が無く利用権のみある電子ジャーナルや外部データベースの利用にかかる費用を、図書館図書費で可とする旨、図書委員会、学部長会議、理事会の承認を得る
- 9月 国立情報学研究所・私立大学図書館協会・関西大学図書館共催「目録システム地域講習会図書コース」を開催 ●米国で同時多発テロが発生
- 10月 第19代図書館長・永沼博道就任 ▲関西大学図書館Web of Science 導入記念セミナー」を開催
- 14 (2002) 3月 「廣瀬文庫 (L25)」を創設
- 4月 図書館等を傘下とする学術情報事務局が置かれる
 ▲図書館オープンシステム LINUS 運用開始 ▲収集整理部門の発注から整理・納品までの業務にアウトソーシング導入 ▲オープンシステム稼動に伴い、登録番号「A系」「B系」を凍結し、新番号体系の「21系」(固定資産図書用)、「22」系(館外整理洋図書固定資産用)、「23系」(館外整理和図書固定資産用)、「31系」(準資産図書用)、「32系」(館外整理和図書準資産用)、「33系」(館外整理洋図書準資産用)、「41系」(製本雑誌固定資産用)を、各々付与開始 ▲蔵書印の押印を廃止する
- 7月 国立情報学研究所 (NII) が電子化する「紀要ポータルサイト」への協力を開始
- 9月 図書館オンラインサービス (利用状況照会・予約取り寄せ・購入希望申込み等) を開始 ▲関西大学の制度による「インターシップ学生」を図書館でも受入 (開始初年度) ▲「目録システム地域講習会図書コース」を開催 ▲経済・政治研究所より、社史・地方史・団体史・Source OECD・統計書を図書館へ移管
- 10月 ●「身体障害者補助犬法」および関連法の施行に伴い、文部科学省より“身体障害者が身体障害者補助犬を同伴することを拒んではならない”旨の通知あり
- 11月 第6回関西大学図書館セミナー「米国の学術図書館における米英政府刊行物の利用実態」を開催
- 15 (2003) 3月 ウェブサイトに電子展示として「長谷川貞信 (大阪の浮世絵)」を公開

- 4月 関西大学学術情報データベースの業務所管が大学事務局長秘書課から図書館運営課に変更（平成18年8月、同課から研究支援センターへ再移管） ■昼夜開講制を実施 ●国公立大学図書館協力委員会から「大学図書館における文献複写に関する実務要項」を周知される
- 5月 電子ジャーナル・データベース導入にかかる私立大学図書館コンソーシアム PULC を形成（早稲田大、慶應義塾大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大が発起代表委員となり、OUP 社の電子ジャーナル継続購読問題、Elsevier 社への公正取引委員会提訴や価格問題解決にあたり、電子ジャーナル提供各社への価格交渉と各大学への積極的な導入を推進）
- 10月 第20代図書館長・田中登就任 ▲第7回関西大学図書館セミナー「Westlaw リーガル・リサーチ講習会」開催
- 12月 ●米国産牛海綿状脳症 BSE 発生
- 16（2004） 1月 ●鳥インフルエンザ発生
- 3月 ウェブサイトに「関西大学図書館 電子展示室」を開設し、すでに公開済みの「長谷川貞信（大阪の浮世絵）」に加えて「伊勢物語」を公開、以降平成19年度末までに「北山切新古今集」「八代集の世界」「ちりめん本」および「戦国武将の書状」の画像を公開
- 4月 ■法科大学院設置 ■情報処理センターが圓神館（旧専門図書館）に移転し、ITセンターと改称
- 5月 図書館利用教育 Web コンテンツ「KUL GATEWAY〈関西大学総合図書館案内 on the Web〉」を図書館ホームページに公開
- 10月 ■スーパー SINET の運用を開始
- 17（2005） 3月 旧情報処理センター跡地を図書館に編入する手続を完了（これを「第2書庫」と名称。総合図書館の面積は19,105.87→21,749.93㎡となる）
- 4月 ■社会連携推進本部開設 ●JR 福知山線脱線事故大惨事
- 7月 ●英国で同時多発テロが発生
- 11月 図書館の社会貢献（図書館の公開）計画策定のため「関西大学総合図書館公開モニター」を実施（本学社会連携センターを通じ吹田市民に広報し、112名が1

- カ年間モニターとなる) ●全国のマンションやホテルに耐震データ偽造発覚
- 18 (2006) 2月 ●神戸空港開港
- 4月 ■会計専門職大学院設置
- 8月 大学の事務組織の改編に伴い、図書館・博物館を傘下とする学術センターが置かれ、図書館事務組織は、運営課・閲覧参考課・収集整理課の3課、高槻図書室、学部資料室が統合し、「図書館事務室」の1つとなる
- 10月 ■学部事務室・大学院事務室等が改組され教務センターが創設される ●冥王星が太陽系惑星から“降格”
- 11月 ■創立120周年記念式典を挙げる ▲「関西大学創立120周年記念大坂画壇の絵画展」開催
- 19 (2007) 3月 ■大学基準協会より「貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2014(平成26)年3月31日までとする」との認証評価の通知あり
- 4月 ■簡文館(旧図書館千里山本館)が文化庁の「登録文化財」に指定される ■2007世界フィギュア選手権大会において高橋大輔が銀メダルに輝く(オリンピック・世界選手権で日本の男子選手が銀メダルを獲得したのは初の快挙) ●『図書館雑誌』が創刊1000号となる
- 5月 「図書館の市民利用」(申込制による一般社会人100名を越える利用)を正式に開始(吹田市民対象) ▲音声ガイドシステム=イヤホンガイドを開始(イヤホンガイドは全部で20台あり、20箇所を、説明時間20分の音声で館内を案内している) ▲EU資料センターをEUi(EU情報センター)と改称 ■政策創造学部開設 ■工学部の改編によりシステム理工学部・環境都市工学部および化学生命工学部が開設される
- 9月 8年ぶりにリニューアルした図書館ホームページ正式にオープン
- 20 (2008) 2月 図書館業務システム iLiswave-J 稼働
- 3月 EUi トレーニングセッション 2007-2008 を開催
- 4月 ■関西大学北陽高等学校・中学校開設
- 5月 第29回 EUi セミナーを本学図書館にて開催
- 6月 図書委員会にて「図書館リニューアル計画(案)」が

- 審議・了承される
- 7月 ■「KU Vision 2008-2017」を策定
- 9月 館内全面禁煙実施 ●リーマンショック
- 12月 「谷澤永一コレクション」の創設
- 21 (2009) 2月 理工系学部学生には4年次生から認めていた入庫について他学部同様3年次生からとする ▲「大阪市立大学学術情報総合センター・関西大学図書館の相互利用事業に関する覚書」、及び「大阪府立大学学術情報センター・関西大学図書館の相互協力事業に関する覚書」の締結
- 4月 私立大学図書館協会 会長校就任、図書館長が同会長に就任(～H23.3.31) ■外国語学部開設 ■臨床心理専門職大学院(心理学研究科・心理臨床学専攻)を設置 ▲市民利用の対象を、吹田市に加えて大学と協定を結んでいる大阪府内の各市(高槻、池田、堺、八尾)に拡大 ▲「関西大学図書館がめざす方向(図書館ビジョン7項目)」の廃止 大学中期行動計画に基づく運営へ
- 5月 ■新型インフルエンザの感染拡大防止のため1週間全学休講 ▲図書館は休館 ●裁判員制度スタート
- 6月 ハーバードイェンチン図書館(米国)と大学図書館間協定を締結(H21.6.27)
- 7月 学生の視点で活動するピア・コミュニティ「KU コアラ」発足 ▲「関西大学図書館、早稲田大学図書館の相互利用に関する覚書」の締結
- 9月 図書館リニューアル計画に基づき、秋学期から3階小グループ閲覧室4部屋及び休憩室の仕切りを取り払い1部屋の閲覧室に改装する(48席から91席に増席) ▲KU コアラが留学生の図書館案内を実施。留学生をサポートするピア・コミュニティ「KU ブリッジ」主催の留学生キャンパスツアーの一部を担う
- 10月 第22代図書館長・北川勝彦就任
- 12月 書庫の狭隘化のため、1980年以前の洋雑誌を第2書庫に移動
- 22 (2010) 2月 早稲田大学図書館との相互利用開始、事前の手続きなしに中央館の利用が可能になる
- 3月 総合図書館の入館機をICカード対応のものに変更 ▲校友等に発行していた磁気カードタイプの利用券

を IC カードに変更 ▲高槻図書室の開室日程について、授業・試験を行っている期間の土曜日の開室時間を 10 時～17 時から 9 時～17 時に変更。これにより、総開室時間数は、30 時間増の 2,440 時間となった

4 月 ■社会安全学部、人間健康学部開設 ■高槻ミュージックキャンパスに関西大学初等・中等・高等学校開設 ■ミュージック大学図書館開設、堺キャンパス図書館仮開設 ▲大阪市立大学学術情報総合センター（図書館）との相互利用の取り決めが変更され、学部学生も利用対象となる ▲OCLC が提供する和・洋書の電子ブックコレクションである『Netlibrary』の利用提供開始

5 月 学長を通じて高等部・中等部校長から依頼があったため、プロジェクト学習や卒業研究のために関西大学高等部生徒がミュージック大学図書館を利用することを許可 ▲KU コアラ主催「日本ファンタジーノベル大賞受賞者講演会」開催。平成 25 年 6 月には「謎解きはディナーのあとで」の東川篤哉氏の講演会を開催

6 月 関西大学図書館フォーラム第 15 号（2010）を発行。今号から Web での提供となる ●小惑星探査機「はやぶさ」帰還

9 月 学長の下に「図書館のありかた検討プロジェクト」を設置（～23 年 3 月） ▲「関西大学商学部連携校特別プログラム（KUSP-C）」受講生を科目等履修生と同等の資格での図書館利用を認める ▲Mobile OPAC のサービス開始 ▲高槻市との連携協定による高槻市民へのミュージック大学図書館一般開放開始

10 月 本学での化学情報データベース SciFinder の利用方法を、クライアント版方式から Web 版方式に変更

11 月 図書館リニューアル計画の一環としての閲覧席増設のための総合図書館の改修について、図書委員会にて報告、確認 ▲図書館蔵書検索システム（KOALA）の機能改善を行う

12 月 学生を対象に、図書館からの個人伝言サービス（インフォメーションシステムの個人伝言機能を通じて図書館から予約資料や ILL 複写物・借用本の到着、延滞資料の返却依頼などを連絡するもの）を開始

- 23 (2011) 3月 ●東日本大震災 ▲文化交渉学研究拠点が構築した「近代漢語文献資料データベース」の公開支援 ▲蔵書検索 KOALA の利用方法を説明するガイダンスビデオをネットワーク配信映像 (VOD) で利用できるようにする ▲図書委員に対する各館見学ツアーを実施
- 4月 堺キャンパス図書館が新しい棟に移転、本格開館 ▲ KU コアラが文化会美術部白鷺会と連携して「コアラ・ミュージアム」を開催。以降も連携先を替えて毎年1~2回開催 ▲新登録番号体系「44系」(ミューズ大学図書館製本雑誌固定資産用)、「45系」(堺キャンパス図書館製本雑誌固定資産用) を付与開始
- 5月 教職員を対象に図書館からの個人伝言サービスを開始 ▲学長宛て「図書館のありかた」プロジェクト報告書を提出
- 8月 図書館リニューアル計画に基づき、総合図書館のレファレンスカウンターをメインカウンターの一角に移動、自然系雑誌コーナーを、人社系雑誌コーナーへ移動、テレリフトを撤去して小荷物昇降機を設置
- 9月 科学雑誌『Nature』及び『Science』を電子ジャーナルへ切替え
- 10月 KOALA Plus (横断検索サービス) の利用提供開始。本学以外の所蔵状況についても簡易に検索が可能となる
- 12月 総合図書館の正面出入口西側に風除室 (出口) を新設 ▲旧事務室 (総合図書館1階東側) を改装して東閲覧室 (252席) を開設
- 24 (2012) 2月 ■南千里国際プラザが竣工 ▲図書館リニューアル計画に基づき空調の熱源装置の取替工事を行うため、2月いっぱい暖房が一切入らない状態となる ▲「図書館利用規程」を一部改正 (図書館の休館日から第1土曜日を外すため) ▲堺キャンパス図書館において校友および協定大学利用登録者への利用提供開始 ▲『Business Source Complete』、『EconLit with Full Text』の利用提供開始
- 3月 高槻図書室にICカード対応の入館機を設置。これで全館に入退館機がそろふ
- 4月 ■留学生別科開設 ■ガバナンス研究科開設 ▲電

- 子ジャーナルポータルを更新 ▲「30分でぐるり1周」
として新入生のための図書館ツアーリニューアル
▲図書館案内ビデオ（約5分間）を作成、新入生指
導行事期間中に上映してもらう ▲大阪大学附属図
書館と関西大学図書館の相互利用に関する覚書の締
結（3月）により、本学学部学生・大学院学生・専任
教職員は、大阪大学附属図書館4館の利用手続きが
簡単になる ▲堺市民への堺キャンパス図書館一般
開放開始
- 5月 駐日欧州連合代表部が主催するイベント EU IN
JAPAN ROADSHOW「EUがあなたの街にやってくる」を開催
- 6月 図書館プチゼミ（各種データベースの使い方説明、
書庫案内）の実施を開始 ▲お知らせにRSS機能が
追加され、図書館からの最新の情報を入手可能にな
る
- 7月 ●第30回夏季オリンピックがロンドンで開催 ▲予
約連絡票の掲出基準を見直し、インフォメーション
システムの個人伝言受取可能な利用者を対象外とす
る
- 10月 第23代図書館長・内田慶市（外国語学部教授）就任
（～現在） ■大学基準協会による大学評価実施調査
▲総合図書館で無線LAN「KUWiFi」のサービスを
開始。静かに資料を読みたいという利用者のために
サイレントエリアを設置 ▲出納システムをメイン
カウンター前 KOALA 端末で開始。（KOALA の予
約機能で書庫本を請求できる） ▲学生対象の図書館
広報誌『KULione』を創刊
- 25（2013） 1月 総合図書館でのオンデマンド印刷サービス導入 ■
本学で学認（学術認証フェデレーション）がスタート。
学外から CiNii を利用する場合、大学が付与した統合
認証の ID / PW で学内と同じ環境の CiNii が利用で
きるようになる ▲2階グループ閲覧室の使用を申
込みに変更する
- 2月 「電子ジャーナルポータル」が「電子リソースポータル」に変更。トップ画面で資料種別（ジャーナル・ブック）毎の絞り込みが可能になる ▲ルーヴェン大学図書館（ベルギー）と相互協力覚書を締結 ▲

- 総合図書館でオンデマンド印刷システムを導入
- 3月 内藤文庫の中の各種資料（講義ノート、拓本、書画、原稿、書簡、写真など）リストを公開 ▲第2書庫に移動していた洋雑誌のバックナンバーを書庫に戻す。第2書庫の空調機が改修されたので、代わりに文庫資料などを第2書庫へ移動
- 4月 堺キャンパス図書館の平日の開館時間を延長（18:30から20:00閉館に変更）し、高槻図書室、ミューズ大学図書館と同じ開館時間とする ▲総合図書館地上階トイレに防犯カメラ設置 ▲「KUL GATEWAY～関西大学総合図書館 on the Web～」の内容を更新 ▲関西大学による「大正癸丑蘭亭会百周年（おおさか）記念行事」の一環として、総合図書館第一会議室、展示室にて展覧会を開催 ▲大阪くらしの今昔館にて、関西大学図書館主催企画展示「なにわユーモア画譜」開催。それに先立ち、総合図書館展示室にて「プレ展覧会 春爛漫コレクション」実施 ■凧風館1階に学生の学習スキル向上を支援する「コラボレーションコモンズ」開設
- 7月 館内でのペットボトル、水筒など蓋つきの飲料の持ち込みと飲用を認める
- 9月 図書館システム iLiswave-J を V1 から V3 にバージョンアップ、スマートフォン対応等の機能が追加。それに伴い KOALA Plus はサービス終了、横断検索機能は KOALA に統合される ●第32回夏季オリンピック東京開催決定
- 10月 東閲覧室の開室時間を延長（17:00から18:00閉室に変更）
- 11月 香港大学図書館と相互協力覚書を締結
- 26 (2014) 2月 資料の利用方法を案内するためのウェブサイト LibGuides の提供開始
- 3月 ●「あべのハルカス」オープン
- 4月 「高槻図書室」を「高槻キャンパス図書館」に改称 ▲関西大学創立130周年記念事業 関西大学図書館創設100周年・関西大学博物館開設20周年記念 図書館 博物館 連携企画展 「関西大学名品万華鏡館選イチョシ！」を博物館にて開催（4/1～5/18） ▲「関西大学図書館100年のあゆみ展」を総合図書

館展示室にて開催（4/1～5/18） ▲総合図書館2階
開架閲覧室に自動貸出機を導入 ●消費税5%から8
%に増税 ■「関西大学学術リポジトリ管理運用規
程」制定にともない、リポジトリの管理・運用を図
書館が行うと規定される

5月 香港城市大学図書館と相互協力覚書を締結

6月 ■関西大学コモンズ委員会が開催される

7月 ■天六キャンパスを売却し、梅田に新拠点を開設す
ることが発表される

図書館創設100周年を迎える

サービスに係る統計（総合図書館）

年 度		開館 日数	入館者数	利用者数			利用冊数			レファレンス 利用者数		
元号	西暦			館内 閲覧者数	館外 貸出者数	合計	館内 閲覧冊数	館外 貸出冊数	合計	学内	学外	合計
平成 7	1995	288	1,027,132	16,189	167,066	183,255	44,974	327,698	372,672	889	18	907
平成 8	1996	285	1,043,410	17,589	173,670	191,259	48,944	340,032	388,976	543	11	554
平成 9	1997	286	984,966	17,203	172,035	189,238	47,214	338,691	385,905	712	31	743
平成 10	1998	285	1,009,067	19,690	191,441	211,131	54,467	377,014	431,481	886	25	911
平成 11	1999	283	1,056,406	21,076	208,675	229,751	54,871	407,462	462,333	660	20	680
平成 12	2000	296	1,188,376	21,419	217,729	239,148	54,291	422,572	476,863	519	13	532
平成 13	2001	298	1,210,970	23,074	212,181	235,255	59,552	414,718	474,270	230	23	253
平成 14	2002	298	1,165,884	29,127	223,084	252,211	56,621	398,512	455,133	303	11	314
平成 15	2003	295	860,273	27,507	214,429	241,936	53,281	389,861	443,142	203	12	215
平成 16	2004	293	1,034,155	25,522	193,563	219,085	49,737	353,502	403,239	168	14	182
平成 17	2005	301	934,632	22,577	175,002	197,579	44,230	323,528	367,758	115	22	137
平成 18	2006	304	875,334	22,716	159,734	182,450	45,242	301,887	347,129	91	10	101
平成 19	2007	301	840,721	19,619	151,825	171,444	40,810	305,805	346,615	122	2	124
平成 20	2008	303	807,136	14,916	143,295	158,211	31,849	302,147	333,996	74	8	82
平成 21	2009	296	761,348	13,966	145,456	159,422	29,578	309,813	339,391	64	8	72
平成 22	2010	303	809,254	13,258	157,197	170,455	27,389	328,717	356,106	90	6	96
平成 23	2011	305	731,963	12,100	152,252	164,352	26,032	316,468	342,500	49	4	53
平成 24	2012	308	710,168	9,618	142,130	151,748	21,414	297,472	318,886	70	4	74
平成 25	2013	310	726,580	9,661	133,523	143,184	20,426	284,529	304,955	86	1	87

相互利用件数															
国内								国外							
提供				依頼				提供				依頼			
閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計
458	122	2,731	3,311	563	203	2,433	3,199	—	0	1	1	—	0	165	165
400	304	3,403	4,107	429	238	2,998	3,665	—	0	0	0	—	0	171	171
428	540	4,042	5,010	450	302	2,829	3,581	—	0	3	3	—	0	305	305
462	408	3,339	4,209	482	323	2,779	3,584	1	0	0	1	11	2	158	171
424	415	3,759	4,598	459	402	3,053	3,914	1	0	0	1	18	1	110	129
591	348	4,082	5,021	325	362	3,255	3,942	0	0	0	0	11	0	113	124
491	297	3,472	4,260	351	563	3,400	4,314	0	0	0	0	0	0	48	48
580	372	3,709	4,661	398	696	3,882	4,976	0	0	6	6	4	2	137	143
513	410	3,490	4,413	440	724	4,347	5,511	0	0	4	4	2	2	112	116
508	302	2,491	3,301	311	662	3,885	4,858	3	0	0	3	7	0	154	161
486	632	4,318	5,436	221	888	4,190	5,299	2	0	1	3	13	2	94	109
621	846	4,755	6,213	213	755	3,492	4,460	1	0	5	6	14	1	50	65
530	726	4,520	5,776	326	765	4,137	5,228	2	0	3	5	7	0	47	54
469	793	4,293	5,555	237	673	3,315	4,225	3	0	0	3	6	1	46	53
448	667	3,908	5,023	169	764	3,364	4,297	6	0	0	6	3	2	80	85
388	654	3,436	4,478	217	622	3,148	3,987	3	0	1	4	17	1	29	47
378	614	3,481	4,473	157	648	2,856	3,661	1	6	16	23	18	0	19	37
441	650	3,440	4,531	150	604	2,512	3,266	3	0	29	32	7	1	23	31
453	575	2,829	3,857	121	513	2,455	3,089	0	0	0	0	12	0	29	41

※国外の閲覧は平成10年度より開始

サービスに係る統計（高槻図書館）

年 度		開館日数	入館者数	利用者数	利用冊数
元号	西暦				
平成 7	1995	256		4,895	8,039
平成 8	1996	258		7,433	12,163
平成 9	1997	251		9,423	16,202
平成 10	1998	251		12,641	22,192
平成 11	1999	251		13,728	24,280
平成 12	2000	250		13,885	24,668
平成 13	2001	249		12,142	22,153
平成 14	2002	252		11,127	19,881
平成 15	2003	251		11,544	21,010
平成 16	2004	249		11,891	22,078
平成 17	2005	244		11,402	22,212
平成 18	2006	255		10,530	22,082
平成 19	2007	257		7,100	14,004
平成 20	2008	253		6,110	11,832
平成 21	2009	245		5,411	10,734
平成 22	2010	254	41,908	6,058	11,520
平成 23	2011	258	47,715	6,132	11,473
平成 24	2012	260	39,453	5,570	10,201
平成 25	2013	262	28,303	4,465	8,344

※平成 14 年度までは館外貸出利用者数および冊数

※平成 15 年度より館外貸出・館内閲覧利用者数及び冊数

※平成 22 年度より入館者数を計数

サービスに係る統計（ミューズ大学図書館）

年 度		開館日数	入館者数	館外貸出・館内閲覧	
元号	西暦			利用者数	利用冊数
平成 22	2010	251	17,581	2,418	4,560
平成 23	2011	258	26,200	3,808	7,722
平成 24	2012	260	32,459	4,750	9,868
平成 25	2013	262	36,938	5,403	10,532

サービスに係る統計（堺キャンパス図書館）

年 度		開館日数	入館者数	館外貸出・館内閲覧	
元号	西暦			利用者数	利用冊数
平成 22	2010	241	8,340	1,569	2,765
平成 23	2011	257	12,801	2,549	4,390
平成 24	2012	260	20,074	3,524	5,812
平成 25	2013	262	27,652	4,494	7,865

蔵書数の推移

年 度		蔵書数									
元号	西暦	図 書 (冊数)			雑誌・新聞 (種類数)			マイクロ資料 (点数)			その他 の資料
		和	洋	合計	和	洋	合計	フィルム	フィッシュ	合計	
平成 7	1995	961,187	567,775	1,528,962	5,041	3,737	8,778	53,320	13,801	67,121	1,955
平成 8	1996	987,460	596,705	1,584,165	4,468	3,560	8,028	56,040	14,318	70,358	2,175
平成 9	1997	1,016,415	616,549	1,632,964	4,401	3,456	7,857	61,895	14,747	76,642	2,391
平成 10	1998	1,025,121	633,076	1,658,197	4,830	3,497	8,327	65,768	15,113	80,881	2,647
平成 11	1999	1,046,782	642,988	1,689,770	4,553	3,435	7,988	69,319	16,208	85,527	2,854
平成 12	2000	1,072,319	660,941	1,733,260	4,282	3,307	7,589	75,675	16,765	92,440	3,360
平成 13	2001	1,092,816	678,468	1,771,284	4,396	3,386	7,782	77,063	17,676	94,739	3,905
平成 14	2002	1,108,281	694,008	1,802,289	3,928	3,277	7,205	79,249	18,406	97,655	4,155
平成 15	2003	1,144,852	713,215	1,858,067	3,857	3,301	7,158	80,259	18,904	99,163	4,761
平成 16	2004	1,173,846	726,945	1,900,791	3,679	3,226	6,905	81,812	20,069	101,881	4,902
平成 17	2005	1,187,331	729,666	1,916,997	3,247	2,567	5,814	84,900	20,282	105,182	5,021
平成 18	2006	1,175,523	739,921	1,915,444	3,071	2,020	5,091	86,187	21,323	107,510	5,144
平成 19	2007	1,192,342	750,032	1,942,374	3,085	1,958	5,043	87,047	22,017	109,064	5,187
平成 20	2008	1,199,763	758,130	1,957,893	3,045	1,918	4,963	87,643	23,025	110,668	5,482
平成 21	2009	1,207,713	763,358	1,971,071	2,917	1,872	4,789	90,090	23,074	113,164	5,237
平成 22	2010	1,214,475	771,252	1,985,727	2,826	1,704	4,530	92,206	23,117	115,323	5,135
平成 23	2011	1,227,197	780,255	2,007,452	2,743	1,669	4,412	93,055	23,783	116,838	5,195
平成 24	2012	1,236,656	790,465	2,027,121	2,724	1,629	4,353	94,759	23,888	118,647	5,429
平成 25	2013	1,249,257	797,155	2,046,412	2,609	1,555	4,164	95,039	24,129	119,168	5,535

※「その他の資料」は、AV 資料（オーディオ・ビデオ）及びニューメディア（CD-ROM・フロッピー）を含む

※ミューズ大学図書館と堺キャンパス図書館の資料は含まない

図書費執行額の推移

年 度		図書費（円）				
元号	西暦	図書		雑誌		電子媒体 (ニューメディア)
		和	洋	和	洋	
平成 7	1995	200,895,665	219,129,686			6,001,069
平成 8	1996	196,521,234	290,894,021			8,457,952
平成 9	1997	184,748,798	203,831,942	31,606,117	147,836,502	696,130
平成 10	1998	182,990,878	235,574,798	40,171,481	173,669,326	9,682,150
平成 11	1999	175,746,169	162,776,394	39,464,535	207,365,364	6,057,877
平成 12	2000	161,422,705	166,728,881	44,408,663	179,774,658	3,640,027
平成 13	2001	176,951,151	150,368,563	44,564,589	206,188,373	5,375,750
平成 14	2002	140,874,224	145,806,576	28,973,497	181,584,484	19,140,986
平成 15	2003	120,814,873	145,758,612	29,905,699	202,852,908	46,847,076
平成 16	2004	139,382,662	137,305,213	26,693,490	212,768,243	7,153,266
平成 17	2005	127,929,365	134,213,377	29,672,000	226,295,329	9,112,215
平成 18	2006	120,603,197	112,412,340	28,122,024	214,375,142	5,148,232
平成 19	2007	92,804,911	123,413,024	20,908,276	222,469,045	4,926,615
平成 20	2008	98,280,281	103,568,268	21,250,500	240,599,697	8,332,706
平成 21	2009	90,979,271	105,135,784	23,308,883	241,252,027	5,981,796
平成 22	2010	98,071,771	107,073,292	27,597,037	231,126,763	5,380,577
平成 23	2011	88,725,235	89,317,650	21,979,472	248,368,306	6,907,986
平成 24	2012	82,509,765	101,678,792	23,842,314	229,285,579	61,616,606
平成 25	2013	89,904,697	87,409,825	25,009,110	241,258,144	2,669,303

※ ミューズ大学図書館及び堺キャンパス図書館の図書費執行額は含まれていない

※ 「雑誌」は電子ジャーナルを含む

※ 「電子媒体」はCD-ROM、DVD-ROM等を含む

※ 「その他の資料」には、追録、AV資料を含む

図書費（円）					
マイクロ資料		その他の資料	外部 データベース	合計	製本費
和	洋				
86,917,826		988,984		513,933,230	
55,736,370		821,674		552,431,251	
101,104,231		39,782,289	857,309	722,989,794	10,731,753
35,723,089	19,897,914	34,227,671	998,735	732,936,042	9,810,528
50,301,932	47,960,644	40,502,432	857,309	731,032,656	9,012,514
81,121,343	18,468,995	41,924,659	2,545,763	700,035,694	9,964,227
17,736,970	28,502,869	6,504,024	34,408,360	670,600,649	11,174,520
27,794,889	39,689,393	62,994,489	29,796,968	676,655,506	11,528,370
1,347,623	40,408,923	52,878,702	31,130,446	671,944,862	11,470,347
14,759,782	70,258,979	39,685,501	23,921,897	671,929,033	11,753,910
8,264,670	69,776,366	27,977,194	39,281,192	672,521,708	10,914,687
8,914,500	72,797,916	28,304,404	46,997,469	637,675,224	9,494,016
3,771,000	51,348,223	19,673,001	50,320,962	589,635,057	8,510,901
5,838,720	47,487,700	15,038,092	49,890,682	590,286,646	7,185,024
2,808,000	51,383,314	17,713,047	52,013,539	590,575,661	7,246,638
7,804,336	56,439,641	9,771,836	50,396,618	593,661,871	7,724,600
0	51,503,090	15,213,413	66,823,480	588,838,632	7,371,672
25,962,701	13,500,574	25,082,713	77,430,343	640,909,387	7,441,140
4,269,195	21,555,775	11,220,639	65,133,961	548,430,649	7,911,540

展示一覧

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
		アダム・スミス「国富論」刊行200年記念	昭和51年11月19日(金)	関西大学商学部会議室	
1985	(第1回特別展)	関西大学総合図書館開館記念特別展示 内藤文庫	昭和60年4月28日～6月29日 第一期：5月末日まで 第二期：6月末日まで		
	第2回	大阪の古版地誌	昭和60年10月8日～10月16日		
	第3回	矢口文庫とその周辺—イギリス経済史を巡って—	昭和60年10月21日(月)～11月15日(金)		
		法律図書館連絡会第28回総会開催記念展示	昭和60年11月15日(金)	総合図書館3階302グループ閲覧室	
1986	第4回	古今の百科辞典	昭和61年4月3日(木)～4月30日(木)		
	第5回	近代日本の雑誌	昭和61年5月19日(月)～6月21日(土)		
	第6回	谷崎潤一郎 —関西在住時代の作品を中心に—	昭和61年9月22日(月)～10月18日(土)		【記念講演会】「谷崎の劇とヨーロッパ」名取栄史文学部教授 10月17日(金)
	第7回特別展	関西大学創立100周年記念 大阪名家自筆稿本百種	第Ⅰ記：昭和61年10月27日(月)～11月8日(土) 第Ⅱ期：11月10日(月)～11月22日(土) 第Ⅲ期：11月25日(火)～12月6日(土)		【記念講演会】①「初出資料の大切さについて」山野博史法学部助教授 11月6日(木) ②「近代文学に描かれた大阪」吉田永宏文学部教授 11月20日(木) ③「展覧本について」肥田皓三文学部教授 12月4日(木)
1987	第8回	さくらづくし	昭和62年4月3日(金)～4月30日(木)		
	第9回	世界の地図	昭和62年5月18日(月)～6月24日(木)		
	第10回	能の世界	昭和62年9月21日(月)～10月24日(土)		【記念講演会】「関大・能・本」関屋俊彦文学部教授 10月16日(金)
	第11回	河上肇と関西大学	昭和62年11月2日(月)～12月5日(土)		
1988	第12回	源氏物語の世界	昭和63年4月1日(金)～4月28日(木)		【記念講演会】「源氏物語と絵」清水好子文学部教授 4月21日(木)
	第13回	世界の聖書	昭和63年5月16日(月)～6月18日(土)		
	第14回	西洋法律学の古書—ローマ法を中心として—	昭和63年9月21日(木)～10月22日(土)		

*空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
1989	第15回	古典資料にみる科学・技術	昭和63年11月7日(月)～12月10日(土)		
	第16回	歌舞伎の世界	平成元年4月3日(月)～5月20日(土)		
	第17回	サミュエル・ジョンソン	平成元年5月29日(月)～7月8日(土)		
	特別展	藤澤恒夫展	平成元年7月17日(月)～8月4日(金)		
	第18回	マリク書店のあゆみ(1916～1947)	平成元年9月21日(木)～10月28日(土)		【記念講演会】「ドイツ20世紀とマリク書店」山下肇文学部教授 10月13日(金)
	臨時展	資料でみる関西大学—学内出版物を中心に—	平成元年12月11日(月)～12月25日(月)		
1990	第19回 春季 特別展	総合図書館開館5周年記念 近代の大阪文芸	平成2年4月9日(月)～5月30日(木)		【記念講演会】「近代文学にみる大阪 —人・風土・大阪弁—」吉田永宏文学部教授(図書館長) 5月14日(月)
	第20回 秋季 特別展	泊園記念会設立30周年記念 泊園書院	平成2年10月15日(月)～11月22日(木)		【記念講座】「泊園書院と懷徳堂 —大坂の学問—」加地伸行大阪大学文学部教授 11月17日(土)
	特別展	文化功労者 北條秀司米寿記念劇作展	平成2年12月3日(月)～12月15日(土)		
1991	第25回 春季 特別展	古典にみる象 —江戸期に渡来した象を中心に—	平成3年4月8日(月)～4月27日(土)		【記念講演会】「古典にみる象 —江戸時代に渡来した象の話—」大庭脩文学部教授 4月22日(月) ※当年度より開催回次は通算を採用
	第26回	大津事件100周年記念 児島惟謙と関西大学展	平成3年5月11日(土)～5月27日(月)		
	第27回 秋季 特別展	原典でみる経済思想の歩み	平成3年10月14日(月)～11月22日(金)		
1992	第28回	流伝の萬葉集	平成4年4月6日(月)～5月18日(月)		【記念講演会】「萬葉集研究一千年」神堀忍文学部教授 5月11日(月)
	第29回 常設 展示	平成元年～3年度『関西大学通信』で紹介された本	前期：平成4年6月1日(月)～9月29日(火) 後期：12月1日(火)～3月19日(金)		
	第30回 秋季 特別展	日本の数学 —和算を中心に—	平成4年10月12日(月)～11月21日(土)		

*空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
1993	第31回 春季 特別展	大坂画壇 一江戸から昭和に至る絵画一	第1期：平成5年4月5日(月)～4月30日(金) 第2期：5月17日(月)～6月12日(土) 第3期：7月5日(月)～7月30日(金)		【記念講演会】「大坂画壇について」山岡泰造文学部教授 4月22日(木) 7月28日-29日は「第54回私立大学図書館協会総大会記念展示」として、総合図書館第1会議室も使用して3期分をまとめて展示
	常設展	平成4年度『関西大学通信』に紹介された本	前期：平成5年8月23日(月)～9月30日(木) 後期：12月1日(木)～3月19日(土)		
	第32回 秋季 特別展	大阪芝居番付	平成5年10月12日(火)～11月20日(土)		
1994	第33回 春季 特別展	西田家寄贈 近世・近代の絵画	平成6年4月4日(月)～5月16日(月)		【記念講演会】「近代大阪の絵画 一恒富・楯彦・花朝一」中谷伸生文学部助教授 4月22日(金)
	常設展	平成5年度『関西大学通信』に紹介された本	平成6年6月6日(月)～3月10日(月)		
	第34回 学外展	関西大学図書館創設80周年記念 関西大学文学部創設70周年記念 おおさか文藝書画展 一近世から近代へ一	平成6年9月22日(木)～9月27日(火)	大丸心斎橋店	
	第35回	関西大学図書館創設80周年記念 近世・近代の文藝書画展	平成6年10月22日(土)～10月23日(日)	奈良県新公会堂2階会場	
1995	第36回 春季 特別展	回想 古きよき大阪江戸から明治の名所めぐり	前期：平成7年4月1日(土)～5月7日(日) 後期：5月14日(日)～6月18日(日)		【記念講演会】「江戸から明治の名所案内 一大阪がかわった時一」藪田貴文学部教授 4月26日(木)
	常設展 前期	平成6年5月から11月まで『関西大学通信』に紹介された本	平成7年7月3日(月)～9月30日(土)		
	第37回 秋季 特別展	蔵書が語る本の文化史	平成7年10月15日(日)～11月19日(日)		
	常設展 後期	平成7年1月から7月まで『関西大学通信』に紹介された本	平成7年12月4日(月)～3月9日(土)		
1996	第38回 春季 特別展	中井藍江とその周辺の画家たち	平成8年4月1日(月)～5月19日(日)		

※空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
	第39回 常設展	図書館蔵書紹介① —ヴァティカン図書館蔵本複製本—	平成8年7月1日(月) ～9月30日(月)		
		美学会全国大会展 近世大坂画壇周辺	平成8年10月11日(金) ～10月13日(日)		
	第40回 秋季特別展	スタインベックの広い世界	平成8年10月21日(月) ～11月22日(金)		【記念講演会】「スタインベックの広い世界」中山喜代市文学部教授 10月30日(水)
	第41回	新関西大学会館竣工記念 関西大学図書館所蔵文書展 戦国武将の書状	平成8年10月28日(月) ～12月20日(金)	新関西大学会館アートギャラリー	
	第42回 常設展	図書館蔵書紹介② —古筆・手鑑—	平成8年12月9日(月) ～1月17日(金)		
1997	第43回 春季展	ちりめん本 —外国語に訳されたおとぎ噺—	平成9年4月1日(火) ～5月30日(金)		
	第44回 夏季展	図書館蔵書紹介③ —大阪文芸資料作家特集 その1—	平成9年6月16日(月) ～7月25日(金)		
	第45回 学外展	大坂の書と画と本 —関西大学図書館所蔵—	平成9年5月30日(金) ～6月11日(水)	京阪百貨店守口店ギャラリー	
	第46回	北條秀司回顧展	平成9年5月6日(火) ～6月30日(月)	新関西大学会館アートギャラリー	
	第47回 秋季特別展	王朝物語の展開	平成9年10月20日(月) ～11月22日(土)		【記念講演会】「王朝物語の本〈写本・古活字本・板本〉」片桐洋一文学部教授 11月13日(水)
	第48回 冬季展	図書館蔵書紹介④ —大阪文芸資料作家特集 その2— 明治の詩歌	平成9年12月8日(月) ～1月17日(土)		
1998	第49回 春季展	プライベート・プレスの世界	平成10年4月1日(火) ～5月30日(土)		
	第50回 特別展	絵入り本の系譜	平成10年4月1日(火) ～5月30日(土)	新関西大学会館アートギャラリー	
	第51回 夏季展	マザーグース	平成10年6月8日(月) ～7月31日(金)		
	第52回 秋季展	いしいひさいち展	平成10年10月12日(月) ～11月7日(土)	新関西大学会館アートギャラリー	
	第53回 冬季特別展	王朝和歌の世界	平成10年11月11日(火) ～12月19日(土)		【記念講演会】「王朝和歌の世界 —写本の魅力」田中登文学部教授 11月17日(火)

*空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
1999	第54回 春季 特別展	聖書コレクション	平成11年4月1日(木) ～5月22日(土)		
	第55回 夏季展	大阪の雑誌創刊号 明治期	平成11年6月14日(月) ～7月30日(金)		
	第56回 秋季 特別展	作家の自筆展 —上方文藝玉手箱—	平成11年10月4日(月) ～11月13日(土)		【記念講演会】「三島由紀夫 初期作品の問題 一川端康 成との往復書簡を契機とし て—」吉田永宏文学部教授 10月25日(月)
	第57回 冬季 展示	この国の字書と辞書	平成11年12月6日(月) ～平成12年1月15日 (土)		
2000	第58回 春季 特別展	本草への招待 一本 草書とその周辺—	平成12年4月1日(土) ～5月20日(土)		
	第59回 秋季 特別展	生誕70周年記念 開高健展	平成12年10月16日(月) ～12月16日(土)		【記念講演会】「対談「開高 健を語る」」背戸逸夫氏/ 山野法文学部教授 (図書館長) 11月18日(土)
2001	第60回 春季 特別展	中村幸彦先生を偲んで	平成13年4月1日(日) ～5月20日(日)		
		和歌文学会 第47回 大会記念展 勅撰和 歌集とその周辺	平成13年10月24日(水) ～10月27日(土)		
	第61回 秋季 特別展	伊勢物語 —注釈と 享受の世界—	平成13年11月7日(水) ～12月15日(土)		【記念講演会】「中世の『伊 勢物語』享受 一関大図書 館本を中心に—」片桐洋一 文学部教授 11月27日(火)
2002	第62回 春季 特別展	文字遺産集成 —文 字の出現から書物へ —	平成14年4月1日(月) ～5月19日(日)		
	第63回 秋季 特別展	英国近代女性作家展 —ブルーストッキング からオースティン、 プロンテの時代へ—	平成14年11月7日(木) ～12月15日(日)		【記念講演会】「イギリス・ フェミニズムの胎動 —英 国近代女性作家展に寄せて —」坂本武文学部教授 11 月29日(金)
2003	第64回 春季 特別展	大阪文藝 長沖一展	平成15年4月1日(火) ～5月18日(日)		
	第65回 秋季 特別展	江戸・明治初期の占 書展 —庶民の生活 の中の占い—	平成15年11月6日(水) ～12月13日(土)		【記念講演会】「今でも使わ れている運勢歴と大雑書 の中の占い —その組み 組を知っていますか—」坂出 伸文学部教授 11月29日(土)

※空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
2004	第66回 春季 特別展	ローマ法の展開	平成16年4月1日(木) ～5月5日(木)		
	第67回 臨時展	「陳瞬臣」展	平成16年5月10日(月) ～5月16日(日)		【記念講演会】「陳瞬臣展記念フォーラム(関西大学主催)」 5月10日(月)
	第68回 臨時展 (記念展)	関西大学経済学部・ 商学部創設100年記念 展示	平成16年10月12日(火) ～10月23日(土)		経済学部・商学部の創設 100年に協賛して博物館、年 史編纂室と共に展示を行う
	第69回 秋季 特別展	「新」生田文庫の能 楽資料	平成16年11月15日(月) ～12月18日(土)		【記念講演会】対談「生田秀・ 耕一を語る 一小鼓のはなし」 生田秀昭氏/関屋俊 彦文学部教授 11月30日(火)
2005	第70回 春季 特別展	日本・明治期の新聞	平成17年4月1日(金) ～5月15日(日)		
	第71回 秋季 特別展	八代集の世界 ―古 今・新古今を中心に―	平成17年11月14日(月) ～12月17日(土)		【記念講演会】「本を写すこ とと切ること」田中登文学 部教授(図書館長) 11月 29日(火)
2006	第72回 春季 特別展	大阪の女流文学	平成18年4月1日(土) ～5月21日(日)		
	第73回 記念展	商学部創設100周年 展示 ―近世・近代 における商(あきない) の諸相と商学部 における学(まなび) の礎―	平成18年5月27日(土) ～6月24日(土)		
	第74回 記念展	関西大学創立120周年 大坂画壇の絵画 ―文人画・戯画から 長崎派・写生へ―	第1部:平成18年10月 15日(日)～11月8日(火) 第2部:11月13日(月)～ 12月1日(金) 第3部:12月3日(日)～ 12月16日(土)		【記念講演会】「大坂画壇の 絵画」中谷伸生文学部教授 11月16日(火)
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	EUにおける大学 ―関西大学協定校を 中心に―	平成18年11月22日(火) ～12月9日(土)	総合図書館1 階エントラン スエリア	
2007	第75回 春季 特別展	子どもの遊びと絵本 ―近世・近代を中心 に―	平成19年4月1日(日) ～5月20日(日)		
	第76回 秋季 特別展	廣瀬文庫とチョーサー をめぐる本たち	平成19年11月12日(月) ～12月15日(土)		【記念講演会】「廣瀬文庫と チョーサーをめぐる本たち」 和田葉子外国語教育研究機 構教授 11月29日(火)
2008	第77回 春季 特別展	「百珍って何？」 ― 今に引き継ぐ江戸の 食文化―	平成20年4月1日(火) ～5月18日(日)		

*空欄は全て総合図書館1階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	ヨーロッパのカフェ と文学	平成 20 年 5 月 26 日(月) ～ 6 月 4 日(水)		
	第 78 回 特別 企画展	内藤湖南 近代日 本の知の巨匠―	平成 20 年 6 月 12 日(水) ～ 7 月 12 日(土)		
	第 79 回 秋季 特別展	目で見える江戸俳諧の 真髓 ―芭蕉・蕪村、 そして俳諧の美―	平成 20 年 10 月 27 日(月) ～ 12 月 13 日(土)		【記念講演会】「目で見える江 戸俳諧の真髓～芭蕉・蕪村、 そして俳諧の美」藤田真一 文学部教授 11 月 17 日(月)
2009	第 80 回 春季 特別展	長谷川貞信 一大阪 の浮世絵師―	平成 21 年 4 月 1 日(水) ～ 5 月 17 日(日)		
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	EU の公用語について	平成 21 年 5 月 25 日(月) ～ 6 月 13 日(土)		
	第 81 回 秋季 特別展	伊勢物語の世界	平成 21 年 10 月 1 日(水) ～ 10 月 31 日(土)		【記念講演会】『伊勢物語』 の成立と享受 ―展示品を 中心に― 山本登朗文学部 教授 10 月 20 日(火)
2010	第 82 回 特別展	資料に描かれた象 ―渡来象を中心に―	平成 22 年 4 月 1 日(水) ～ 5 月 16 日(日)		
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	EU カレントアウェア ネス (EU 最新事情)	平成 22 年 9 月 21 日(火) ～ 10 月 1 日(金)	総合図書館 1 階エントラン スエリア	
	学外展 出陳	知と美の集大成 関 西大学所蔵名品展	平成 23 年 3 月 5 日(土) ～ 27 日(日)	財団法人柿衛 文庫展示室	主催：財団法人柿衛（かき もり）文庫（兵庫県伊丹市） 共催：関西大学 関西大学図書館・博物館所 蔵品を、関西大学の地域連 携事業として公開
2011	第 83 回 特別展	大坂文人・学者の世 界 ―江戸時代を中 心に―	平成 23 年 4 月 1 日(金) ～ 5 月 15 日(日)		
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	ヨーロッパのメガネ 男子	平成 23 年 5 月 20 日(金) ～ 6 月 3 日(金)		
2012	日・EU フレンド シップ ウィーク展	LOVE LETTER from EUROPE ユー ロッパ著名人たちの ラブレター	平成 24 年 5 月 28 日(月) ～ 6 月 11 日(月)		
		織田作之助と「大阪」	平成 24 年 4 月 14 日(土) ～ 5 月 20 日(日)		主催：関西大学大阪都市遺 産研究センター 協力：オダサク倶楽部

*空欄は全て総合図書館 1 階展示室にて開催

開催年	回次	タイトル	期 間	開催場所*	備 考
		戦争の記録と表象： 火野葦平 ―日本・ アジア・ヨーロッパ―	平成 24 年 9 月 13 日(水) ～ 22 日(土)		主催：東西学術研究所 日 本文学・芸能研究班
2013		「なにわユーモア画譜」展 特別企画 プレ展覧会 大坂画壇 春爛漫コレクション	平成 25 年 4 月 1 日(月) ～ 8 日(月)		下記展示のプレ企画
	学外展	なにわユーモア画譜 ―関西大学所蔵大坂 画壇コレクションを 中心に―	平成 25 年 4 月 20 日(土) ～ 5 月 26 日(日)	大阪くらしの 今昔館	主催：大阪くらしの今昔館、 関西大学図書館
	蘭亭会 展覧会 第 1 部	大正癸丑（きちゅう） 蘭亭会百周年（おお さか）記念 ―近代 日本における翰墨の 盛典―	平成 25 年 4 月 12 日（月） ～ 5 月 19 日（日）		主催：関西大学大正癸丑蘭 亭会百周年記念行事実行委 員会「関西大学大正癸丑 （きちゅう）蘭亭会百周年 （おおさか）記念行事」の 一環として博物館と図書館 で展覧会を開催 博物館での左記展覧会（4 月 1 日～ 5 月 19 日）の一 部を図書館展示室で展示
	蘭亭会 展覧会 第 2 部	一九一三年蘭亭会へ の懐古と継承 ―日 中名家書作品展―	平成 25 年 4 月 1 日(月) ～ 5 月 19 日(日)	総合図書館第 1 会議室	主催：関西大学大正癸丑蘭 亭会百周年記念行事実行委 員会「関西大学大正癸丑 （きちゅう）蘭亭会百周年 （おおさか）記念行事」の 一環として博物館と図書館 で展覧会を開催
	日・EU フレンド シップ ウィーク展	EU 諸国の言語に翻 訳された日本の小説	平成 25 年 6 月 3 日(月) ～ 6 月 14 日(金)		
2014	図書館・ 博物館 連携 企画展	関西大学名品万華鏡 ―館館選イチョシ！ ―	平成 26 年 4 月 1 日(火) ～ 5 月 18 日(日)	関西大学博物 館	関西大学創立 130 周年記念 事業 関西大学図書館創設 100 周年・関西大学博物館 開設 20 周年記念
	臨時展	関西大学図書館 100 年のあゆみ展	平成 26 年 4 月 1 日(火) ～ 5 月 18 日(日)		

※空欄は全て総合図書館 1 階展示室にて開催

他大学図書館との協定一覧

	協定図書館	所在地	協定名	締結日
1	関西学院大学図書館	兵庫	関西四大学図書館 相互利用協定	昭和 56（1981）年 3 月 23 日
2	同志社大学図書館	京都		
3	立命館大学図書館	京都		
4	大阪府立大学学術情報センター	大阪	相互協力事業に 関する覚書	平成 21（2009）年 3 月 25 日
5	大阪市立大学 学術情報総合センター	大阪		
6	ハーバードイェンチン図書館	米国・ ケンブリッジ	学術交流に関する協定書	平成 21（2009）年 6 月 27 日
7	早稲田大学図書館	東京	相互利用に関する覚書	平成 21（2009）年 7 月 1 日
8	大阪大学附属図書館	大阪	相互利用に関する覚書	平成 24（2012）年 3 月 23 日
9	ルーヴェン大学図書館	ベルギー・ ルーヴェン	相互協力覚書	平成 25（2013）年 2 月 6 日
10	香港大学図書館	中国・香港	相互協力覚書	平成 25（2013）年 11 月 28 日
11	香港城市大学図書館	中国・香港	相互協力覚書	平成 26（2014）年 5 月 23 日